

令和3年1月5日発行  
No.351

# Shining

シャイニング

発行元：社会福祉法人 拓く

TEL 0942-27-2039

FAX 0942-27-2086

<http://h-polepole.com>

## あいましておめでとう ございます



コロナ禍の年末年始。みなさまはいかがお過ごしいただきましたか。  
昨年(2020年)は、新しい生活様式(年中マスク着用、消毒の徹底、常時換気など)への切替え、事業の開始や廃止など、法人にとって大きく変化した1年であったと同時に、様々な変化に柔軟に対応することの重要性も感じた年にもなりました。  
また、昨年は法人設立20周年でしたが、今年は「出会いの場ポレポレ」の開所から20年を迎えます。利用者さん、ご家族、そして当初からの職員も20歳を重ねました。次の20年も健康に過ごせるよう、仕事だけでなく、体力作りや余暇にも目を向けていきたいと思います。



さて、「惣菜処ぽれぽれ」は、1月1日からカタチを変えて「出会いの場ポレポレ」と一体的に活動しています。お正月休みもなく、利用者さん、職員と一緒に365日働くチャレンジがはじまっています。「夢工房」は、令和3年1月から管理者に山本眞理子が着任し、クッキー生産と企業と連携した厨房業務の推進をしていくこととなります。「グループホーム」は、家族による介護が難しくなることへの対応も柔軟にしていく必要性を感じています。「出会いの場Leo」は、毎日の利用児童数も多くなりました。今年も安全に元気いっぱい遊び、学べるようにしていきます。

今年もコロナと共に過ごしていくこととなりますが、ご家族や地域、企業の方々と力を合わせ、何事も希望を見出していきたく思います。本年も皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。  
(統括本部長 北岡 さとみ)



### 職員からのあいさつ(年始編①)



施設外  
就労

昨年は、たかのフーズへの施設外就労にチャレンジしました。初めて施設以外で働く利用者さん、施設外就労がきっかけで新たにポレポレの一員になった利用者さんがいたり、職員も企業のスピードに合わせて働くなど、初めてづくしの1年でした。私自身も週に2~3回、施設外で利用者さんと一緒に働いています。利用者さんの新たな力に気づけたり、どうするか一緒に考えたり、発見や学びの1年となりました。



年末は12月29日に仕事納めができるように、みんなで話し合っていく時間や人員を増やすなど、正月休みに入っても作業が滞らないようにしました。また、1月4日の仕事始め、今年の抱負で「段ボール作りを頑張りたい」と挙げられている方もいらっしゃる、やる気いっぱいのスタートです。今年も色々な人のチャレンジの場所にしたいと思います。また、施設外だけでなく施設内の作業をもっともらえるように、みんなでいい仕事をしていきます。(たかのフーズ担当 児玉 鈴子)

\*\*\*\*\*

出会いの場  
ポレポレ  
(パン・菓子)

昨年はコロナ禍で販売の縮小...生産チームもどうしたら売上を伸ばすことができるのか、頭を悩ませる日々でした。その中でも、パンの販売先が増やせた事で新しい作業も増え、それに意欲的に取り組む利用者さんの姿を見て、自分の役割の大切さを改めて感じる日々でもありました。

まだまだ我慢を強いられる情勢ではありますが、そんな中でも一人ひとりが希望をもって進んでいけるよう一日を大切に活動をしていきたいと思います。『できないからしない』じゃなくて『どうしたらできるかな』という気持ちで...皆様にはギフトなどの販売の際にはご協力いただき、ありがとうございます。今年も応援・ご支援をよろしくお願い致します!!

(出会いの場ポレポレ パン・菓子担当 中村 友香)

では  
出会うの場  
れお  
Leo

昨年8月に開所し、1月で5ヶ月目を迎えます。コロナ禍の中での始まりでしたが、子ども達は毎日元気いっぱいに登所。検温や消毒、着替えなどの感染対策も以前より

スムーズに行えるようになりました。今後も習慣づいていくようにしっかりと取り組んでいきます。

新年は、干支【うし】の手作り台紙に、今年目標の書初めからスタート。それぞれ、シールを貼ったり、絵の具で描いたりと思い思いに取り組み大満足の様子。

今年は、それぞれ好きな事や得意な事を沢山見つけ、新たな発見をしながら、苦手な事にも少しずつチャレンジしていきたいと思えます。寒さに負けず、冬という季節を感じながら日々楽しんでいきます。今年もよろしくお願ひ致します。

(出会うの場Leo 管理者 溝尻 博子)



ゆめこうぼう  
夢工房

昨年、コロナ禍の中で、喫茶業務から企業と連携した厨房業務など、新しい「チャレンジ」をしたり、みんなで知恵を出し合い、「したいこと」を何とかカタチにしてみました。

今年も続くコロナ禍、日々の生活のなかで嬉しい、感謝の気持ちを忘れずに新しい年をスタートしていこうと思えます。

「チャレンジする」「仕事で充実感を味わう」「やりたいことを実現する」など、いろんな形で楽しいことをいっぱい見つけながらやりたいと思えます。

今年の干支「丑」のように一歩ずつ一歩ずつ前に進んでいきたいと思えます。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

(夢工房 野瀬 渉)



では  
出会うの場  
ほれほれ  
ポレポレ  
(2F)

昨年を振り返るとコロナが流行し、今まで当たり前前に外へ出掛けたり、余暇活動ができていたのが、できなくなり戸惑うことも沢山

ありました。しかし、そんな中でも各々が一生懸命、力を発揮しながら、配達やパン・菓子につけるカードや飾りづくり、外部企業の業務にも取り組んできました。同じくリハビリや散歩など身体を動かすことも大事に過ごしました。

一人ひとりに寄り添い、誰でもできるように手をとって一緒に取り組んだことで関係性がより深まったと強く感じます。

今年もたくさん心と体を動かし、利用者さんとともに前を向いて歩いていきたいと思えます。2021年、明るく楽しい1年になるように皆で盛り上げていきましょう！

(出会うの場ポレポレ 2F 担当 碓 翔南子)



そうだしえんせんた  
相談支援センター  
かりぶ  
カリブ

相談支援専門員となり、1年が経過します。年度始めは、コロナ禍で中々ご本人と直接会えず、この状態で寄り添った支援を考えると

ができるか不安になることもありましたが、少しずつ顔を合わせられるようになり、ご本人の様子が見えはじめてきた気がします。

相談支援を通して多くの方と出会うことができました。ご本人やその周りにある社会資源など、出会った分だけ多くの学びや思いを得ることができています。

今年も引き続き、多くの方と良好な関係性を築いていきたいと思えます。これからデジタル化・リモート化が急速に進む昨今だからこそ、人と触れ合う一瞬一瞬を大事に、皆様の力になれるよう頑張っていきたいと思えます。

(相談支援センターカリブ 姫野 健太)

そうむ  
総務・  
かいけい  
会計

昨年、コロナの影響で、あっという間にマスクが入り手困難な状況になりました。少しずつ入手できるようになったものの値段は

数倍に高騰、他の消毒液や手袋等の衛生用品も入り手困難、値段高騰…日常の活動で使う必需品の確保に苦労しました。今年もまだまだその状態は続きます。

利用者さん、職員が困らずに日常が継続できるように業者からの情報なども活用して備蓄品が不足しないようにしてい

きたいと思えます。みなさんも何かしらの情報がありましたら、お知らせくだされば幸いです。

(総務・会計 福井 尚子)